

# 令和7年度 第4回 狩野川水系流域委員会 議事要旨

日時：令和8年3月30日（月）13:30～15:30

場所：Plaza Verde（WEB 併用）

## 1. 委員会の成立

- ・ 委員総数8名の内、8名出席であることから、狩野川水系流域委員会規約第4条に則り、本委員会は成立した。

## 2. 議事

### (1) 令和7年度第3回流域委員会におけるご意見とその対応

「令和7年度第3回流域委員会におけるご意見とその対応」について説明し、以下のご意見をいただいた。

- ・ P.8 現在整理されている環境定量目標の数値は、自然な状態での消失率を含んだ値であるが、今後、河道掘削等の河川改修を実施した場合、自然な状態での消失以上に河川環境が変わることが懸念される。
- ・ P.8 今回設定した環境定量目標達成は策定からどれくらいを見込んでいるのか。平成30年を評価原点とした場合、現時点で既に10年程度経過しているが、問題ないか。
- ・ P.8 ワンド0.6haの定量目標に対して、0.06haが10個と、0.6haが1個では河川環境の意味合いが異なる。定量目標という数値では表されない事象について、定性的にも良い河川環境を創出していただきたい。
- ・ P.3 狩野川資料館は、他の博物館との繋がりはどのような状態か。
- ・ P.6～9 環境定量化目標のモニタリング方法として、量的な変化だけでなく、質的な変化も確認した方が良い。（例：上下流の似た河川環境での比較などを行っていく等）
- ・ P.6 イソシギは、渡り鳥でもあるため、狩野川の河川改修の影響だけでなく、周辺

の自然環境からも影響を受ける。狩野川以外の自然環境を利用する種は、種の減少理由は、河川環境だけでないことに注意した方がよい。

- ・ P.7 環境定量目標について、平均をとった理由が不明である。瀬と淵は一体の関係であるため、どちらか一方だけが減る、創出して増やすというのは難しいのではないか。

## (2) パブリックコメントの意見内容とその対応

「パブリックコメントの意見内容とその対応」について説明し、以下のご意見をいただいた。

- ・ 参考資料-1 パブリックコメントの意見に関して、環境に関する意見が極端に少なく感じられるが、意見聴取方法として何か問題や要因が考えられるか。
- ・ P.7 狩野川放水路分流堰の切り下げの説明について、分流堰の切り下げと生物への影響についてうまく説明を頂きたい。
- ・ 「合理的な水利用」と利水の面で記載いただいているが、昨今の気温上昇による作物被害が深刻化している事象もあり、夏季の日中などの高温時期に水田に水をかけ流しておく場合がある。日中の水利用が集中的になり、合理的な水利用ができない場合もあることを考慮していただきたい。今後、水田貯留などの洪水機能を確保し、治水と利水の両面で動くことが出来るようにするためにも、農業を持続的に行うことができる仕組みづくりを期待したい。

## 3. その他

### (1) 狩野川水系河川整備計画（変更案）パンフレット

「狩野川水系河川整備計画（変更案）」について説明を行った。

### (2) 今後の流域委員会の開催予定

「今後の流域委員会の開催予定」について説明を行った。

以上